

編集後記

本号巻頭言で横浜国立大学教授の勝地先生に「橋梁技術の研鑽を重ねる」と題して、長大橋の歴史、海外での展望、今後と取り組むべき課題についてご教示を頂きました。貪欲に技術力向上に向けて取り組む姿勢が必要であるとのお話は、技術者にとっては大いに共感を呼ぶと思います。これからの時代において、急速な技術の進展に追いつくためには、好奇心と向上心を持ち続けることが不可欠だと考えます。ご教示が、技術者や関係者の方々にとって刺激となり、より高度な技術の発展に寄与することを期待しています。

本号表紙には橋梁、鉄構及び環境インフラの代表的な写真を掲載しました。つぎに当年度に完成した弊社の事業を紹介しております。開発・技術・製品の紹介では、DX推進のための開発商品、構造実験棟を用いた疲労試験例を掲載しております。近年のDX推進・活用例として安全訓練に関するツールを紹介しております。今後も本技報で商品化された技術や適用例を取り上げる予定です。研究報告では、鋼橋の耐荷力試験、環境では弊社富津工場に導入した蓄電池一体型の風車出力システム、与那国島での風況観察について紹介しております。工事報告では、橋梁の工事概要と施工内容を紹介しており、執筆者は徐々に若手にシフトしており、世代交代を感じさせる技術報告となっています。

駒井ハルテック技報は、技報執筆した各自の技術鍛錬の成果報告の場としています。皆様が一読して、駒井ハルテックの技術者が社会貢献のための構造物（技術）に寄せる思いを感じていただければ、編集委員の一員として非常に嬉しく思います。

(中本 啓介)

駒井ハルテック技報 作成関係委員 (50音順)

技術委員会	委員長：橋 肇						
	委員：東 博年	稲田 哲夫	高尾 智之	高橋 順一	塚狭 研治		
	中本 啓介	細田 直久	森川 淳一	山田 俊一			
	事務局：山内 隆						
編集WG	WG長：中本 啓介	副WG長：東 博年					
	幹事：高尾 智之	稲田 哲夫	細田 直久				
	委員：伊藤 哲也	篠田 隆広	高 良人	高橋 秀樹	塚狭 研治		
	中原 勤	三浦 智一	村上 健二	森川 友記	山本 佳宏		

駒井ハルテック技報 Vol.13 2024

発行：2024年1月

発行所：株式会社駒井ハルテック

〒110-8547 東京都台東区上野一丁目19番10号

<https://www.komaihaltec.jp/>

印刷：株式会社シップス

〒270-2214 千葉県松戸市松飛台404番1号

<http://k-cips.co.jp/>

©株式会社駒井ハルテック (禁無断転載)